

《担当者名》専任教員 / 山形 摩紗 / 千葉 利代 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 秋元 奈美

【概要】

歯科衛生士が行う歯科診療補助の法的意味と役割を理解する。

前半では歯科診療を効果的に進めるため歯科医師、歯科技工士、歯科助手らと共に歯科医療チームを構成した際の、共同動作や基本的補助技術を習得する。

後半では各歯科材料の基礎知識を認識し、取扱い方法やその留意点を理解する。また各歯科診療内容に沿った共同動作の工夫することにより効率のよい歯科診療補助を習得する。

【学修目標】

チーム医療の中で歯科衛生士の役割を具体的に述べる。

診療の補助、診療の介助を説明する。

歯科診療における共同動作のルールや、行動のパターンについて説明する。

歯科用ユニットを始めとする診療室内における器械を操作する。

診療室における器械の点検、整備、管理法を工夫する。

歯科診療における消毒・滅菌の意義、各消毒・滅菌方法を説明する。

滅菌消毒方法を具体的に述べる。

手指消毒の目的と重要性を説明する。

確実な手洗いを実施する。

感染性医療廃棄物の処理方法を具体的に述べる。

患者を安全に診療台まで誘導する。

部位別のライティングを工夫する。

直接修復法、間接修復法の手順と診療補助の流れを理解する。

バキュームテクニックの目的を理解し、安全に配慮した操作を実施する。

各種器材の安全で確実な受け渡しを実施する。

模型材（石膏）の種類、特徴、取扱い方法、留意点について説明する。

模型材（石膏）の取扱いに熟練する。

スタディモデルの意義、作製方法を述べる。

スタディモデル作製を実施する。

ブローチ綿栓の使用目的を理解し、目的に沿った綿栓を作製する。

合着材・接着材の特徴を説明し取扱い方法を習得する。

仮封材の特徴を説明し取扱い方法を習得する。

ラバーダム防湿の目的・意義を説明し取扱い方法を習得する。

寒天印象材、合成ゴム質印象材、その他の印象材の特性を理解し取扱い方法を習得する。

グラスアイオノマー修復、コンポジットレジン修復の術式に沿った診療補助展開することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科診療補助の概要	講義 歯科診療補助の意義を理解する。 歯科診療補助業務の歯科衛生士法における法的位置づけを説明する 診療補助と介助の違いを学ぶ。 歯科診療補助の流れについて学ぶ。	山形 摩紗
2	専門用語の使い方	歯面の名称など基本的な略語、専門用語を理解する。	山形 摩紗
3	感染予防	医療安全の目標を述べる。 感染リスクとその対策について説明する。 標準予防策を述べる。 感染予防対策について説明する。	山形 摩紗

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		ハイリスク患者の器材の取扱いについて理解する。 医療廃棄物の取扱いについて説明する。 診療室で使用する薬品についての知識を理解する。 毒薬、劇薬、普通薬を区別し保管方法を学ぶ。	
4 5	手指消毒 基本セットの滅菌	感染を予防するための基本的な手指消毒を実施する。 手指消毒の目的、消毒薬の種類、使用方法。 グローブ着脱の手順と方法を習得する。 診療室の適切な環境について理解する。 実習により手指消毒の方法を習得する。	山形 摩紗
6	綿球作製	使用目的に応じた綿球の作製方法を習得する。 ピンセットの把持方法を習得する。	山形 摩紗
7 8	滅菌・消毒法	消毒と滅菌の概要と感染予防対策について理解する。 各種滅菌方法の特徴を述べる。 滅菌・消毒済み器材の取り扱いと有効期限について理解する。 器具、器材の消毒、洗浄、管理について説明する。 実習を通して器具の取扱いの技術を習得する。 歯科医療の現場で行われている消毒、滅菌法の種類と具体的な方法や使用器械・器具の取扱い、管理法を理解する。	山形 摩紗
9 10	歯科診療における基礎知識 ユニット操作	歯科診療室の環境管理、設備について説明する。 共同動作の概念を述べる。 歯科用ユニットの取扱いを習得する。 患者に配慮した患者誘導を実施する。	千葉 利代
11 12	ポジショニング、ライティング 器具の受け渡し	共同動作のポジショニングについて説明する。 共同動作における位置と姿勢を理解する。 正しいポジショニングとライティングを実施する。 相互実習によりユニットの操作方法、共同動作の基本を習得する。 共同動作における器具の取扱いについて説明する。 器具の取扱い、受け渡しを実施する。	千葉 利代
13 14	保存修復時の診療補助 ・う蝕処置とは	直接修復の手順と診療補助の流れを理解する。 間接修復の手順と診療補助の流れを理解する。	山形 摩紗
15	保存修復時の診療補助 ・直接修復と診療補助の流れ	直接修復の流れを理解する ・局所麻酔 ・ラバーダム防湿 ・窩洞形成	山形 摩紗
16 17	ラバーダム防湿	ラバーダム防湿の目的、使用器材、術式、留意点について理解する。 マネキン実習により技術を習得する。	山形 摩紗
18 19	保存修復時の補助手技 (隔壁、歯間分離)	保存修復時の補助手技について理解する。 隔壁、歯間分離について理解する。 マネキン実習により技術を習得する。	山形 摩紗
20 21	成形歯冠修復材の取扱い	修復法について理解する。 ・コンポジットレジン ・ガラスアイオノマーセメント	山形 摩紗
22 23	成形歯冠修復材の取扱い ・コンポジットレジンの取扱い (マネキン実習)	成形修復についての知識を整理する。 歯髄保護について理解する。 コンポジットレジンの取扱い、術式について理解する。 歯間分離法、隔壁用器材の取扱いについて理解する。 マネキン実習により取扱い方法を習得する。	山形 摩紗

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
24	保存修復時の診療補助 ・直接修復と診療補助の流れ	直接修復の流れを理解する ・局所麻酔 ・ラバーダム防湿 ・窩洞形成	山形 摩紗
25	保存修復時の診療補助 ・間接修復と診療補助の流れ	間接修復の流れを理解する ・メタルインレー ・CRインレー ・セラミックインレー ・窩洞形成復習	千葉 利代
26) 27	印象材の取扱い ・アルジネート印象材	歯科材料の基本的性質について説明する。 印象材の所要条件、種類、分類、用途について説明する。 準備、計量から印象採得までの手順を理解する・	千葉 利代
28) 29	アルジネート印象材練和 (マネキン実習)	マネキン実習により準備から印象採得までの技術を習得する。 取扱いの留意点について確認する。	千葉 利代
30	印象材の取扱い ・寒天印象材	寒天印象材の主成分、特徴、用途、取扱いについて理解する。	千葉 利代
31) 32	印象材の取扱い ・アルジネート印象材、寒天印象材 (マネキン実習) ・咬合採得	アルジネート印象材と寒天印象材の連合印象採得方法について理解する。 マネキン実習により印象採得方法の技術を習得する。 咬合採得の目的、方法、使用材料を理解する。	千葉 利代
33) 34	仮封材の取扱い	仮封材の種類と所要性質、取扱いを説明する。 各種仮封材の取扱いを実施する。 テンポラリーストッピング セメント系仮封材 水硬性仮封材 仮封材用軟質レジン サンダラックパーニッシュ	千葉 利代
35) 36	合着材・接着材の取扱い	各種合着材・接着材の種類と用途を述べる。 実習により各種歯科用合着材・接着材の取扱い方法を習得する。 ガラスアイオノマーセメント カルボキシレートセメント 接着性レジンセメント リン酸亜鉛セメント	千葉 利代
37) 38	保存修復時の診療補助 ・間接修復と診療補助の流れ	間接修復の流れを理解する ・メタルインレー ・CRインレー ・セラミックインレー ・窩洞形成復習	千葉 利代
39) 40	ブローチ綿栓作製実習 ラバーダム防湿	使用目的、種類、使用方法、作製手順を理解し作製技術を習得する。 ラバーダム防湿の目的、使用器材、術式、留意点について理解する。 マネキン実習により技術を習得する。	千葉 利代 山形 摩紗
41) 45	口腔内洗浄とバキュームテクニック	バキュームテクニックの基本を述べる。 ・バキューム」の目的、種類 ・バキュームチューブの持ち方 ・吸引位置 ・禁忌事項 ・スリーウェイシリンジの目的と操作方法	千葉 利代 山形 摩紗

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		フォーハンドテクニックの基本を述べる。 マネキン実習により部位別の口腔内洗浄とバキュームテクニック、操作上の留意点について習得する。 相互実習によりバキューム操作技術を実施する。	
46) 48	アルジネート印象材練和 (マネキン実習)	マネキン実習により準備から印象採得までの技術を習得する。 取扱いの留意点について確認する。	山形 摩紗
49	歯科用石膏の取扱い	模型用材料の種類と用途、取扱い法を説明する。	千葉 利代
50) 51	歯科用石膏の取扱い	基礎実習において計量、練和方法、注入方法を習得する。	千葉 利代
52	ブローチ綿栓作製実技試験 ラバーダム防湿実技試験	ブローチ綿栓作製の実技試験を行う。 ラバーダム防湿(1歯露出法)の実技試験を行う。	千葉 利代 山形 摩紗
53) 54	アルジネート印象材器械練和	アルジネート印象材の器械練和方法を習得する。	山形 摩紗
55	印象用トレー試適 咬合採得	印象用トレーの種類、分類を述べる。 口腔内に適した印象用トレーを選択する。 相互実習により印象用トレーの選択、試適を実施する。	山形 摩紗
56) 58	スタディモデル作製 (石膏注入まで)	スタディモデルの使用目的と作製手順について学ぶ。 マネキン実習において印象材の取扱い、印象採得方法、作製の留意点、模型材の取扱い方法を習得する。	千葉 利代 山形 摩紗
59	スタディモデル作製 (トリミング) ラバーダム防湿実技練習	スタディモデル台の作製、トリミングについて理解する。 実習をとおしてトリミング方法を習得する。 作品を観察し口腔内状況を分析する。 マネキン実習により技術を習得する。	千葉 利代 山形 摩紗
60	主要3科目 到達度チェック (実技試験)	歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助を合同で実習することにより、それぞれの到達度を確認する。 バキュームチューブの持ち方 ・吸引部位 ・禁忌事項 スリーウェイシリンジの操作方法 ピンセットの把持方法と綿球作製	山形 摩紗 大山 静江 秋元 奈美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(実技試験を含む)90%

提出物(レポート・作品)、授業態度10%

以上を総合的に判定する。

【教科書】

「最新歯科診療補助論」医歯薬出版

「歯科機器」 医歯薬出版
「歯科材料」 医歯薬出版

【参考書】
「基礎実習帳」

【学修の準備】

- ・実習時に忘れ物をした場合、実技ができなくなる場合があるので必要な使用器材は必ず持参すること。
- ・実習には指定された制服を着用し、身装を整えておくこと。
- ・実技試験については各自で自主練習をしておく。

[授業時間外学習]

予習：30分...授業内容を確認し、該当部分を教本で事前に読んでおく。実習の場合は実習要領プリントを熟読しておく。
復習：30分...教本・実習プリントを確認しまとめておくこと。実習後は実習の評価、考察、所感をレポートに記載する。

【実務経験】

岡橋 智恵（歯科衛生士）
大山 静江（歯科衛生士）
千葉 利代（歯科衛生士）
秋元 奈美（歯科衛生士）
山形 摩紗（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科衛生士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う